

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 5 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2012～2014

課題番号：24520735

研究課題名(和文)古代地方官衙における地域間交流の研究

研究課題名(英文)The Study on Local Governments of Ancient Japan

研究代表者

佐藤 信(SATO, MAKOTO)

東京大学・人文社会系研究科・教授

研究者番号：80132744

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,200,000円

研究成果の概要(和文)：「古代地方官衙における地域間交流の研究」をテーマとして、日本古代の律令国家が中央集権的統治のため地方に設けた国府(国衙)・郡家(郡衙)などの役所に注目し、それら役所が様々な機能を果たす中で、他地域との間に盛んな交流を展開した姿を、具体的事例に則しつつ明らかにした。国府では出雲国府・武蔵国府など、郡家では東国の上野国佐位郡家・新田郡家・多胡郡家、武蔵国橘樹郡家・幡羅郡家、下野国河内郡家、相模国高座郡家などの事例を検討した。その結果、前代以来の王権と地方豪族との人的な結びつき、渡来人との結びつき、漢字文化・仏教・寺院の受容や、隣接諸地域との多様な政治・経済・文化的交流の諸様相を明らかにした。

研究成果の概要(英文)：I studied on Local Governments of Ancient Japan from 7th till 10th century. Local Governments offices under the Ancient State of Japan were composed of Provincial Offices (Presently Prefecture Offices) and County offices. Provincial Office was a key vase of the provincial governor sent from the Imperial Court in the ancient capital. County offices was key vase of the director of county who was appointed from a powerful regional clan by the Imperial Court. Provincial Office and County Office were composed of various facilities which fulfilled various functions. These functions consist of govern, public, financial, religion, industrial and traffic function.

Local Governments under the Ancient State of Japan also carried out various exchange with the Imperial Court and other Local Governments. The certain evidences of the exchange between the ancient Local Governments are historical sites and Remains from excavations of ancient Local Government Offices.

研究分野：日本古代史

キーワード：地方官衙 郡家(郡衙) 国府(国衙) 木簡 出土文字資料 地方行政 地方豪族 東国

## 1. 研究開始当初の背景

日本古代の地方官衙遺跡は、国府や郡家の遺跡について、発掘調査による発見と解明が相次いでおり、そこから出土する木簡や墨書土器・文字瓦などの出土文字資料によって、古代地方行政の実像が検証できるようになってきた。

古代日本列島において地方官衙が果たした公共的、財政的、宗教的、文書行政的、給食的、手工業生産的、交通的などにわたる多様な機能の実像が明らかになり、また地方官衙遺跡の施設群のあり方を通して、多様な機能を担った政庁、実務官衙(「曹司」)、正倉院や厨などの諸施設の解明によって、日本古代国家の地方支配の特質が浮かびあがってきている。これまでに地方官衙遺跡の分析を通して、一定の見通しを得た(『古代地方官衙と社会』山川出版社、二七年)が、その後も各地の地方官衙遺跡群が明らかになり、木簡などの出土文字資料も増大したことを受けて、今回は中央政府と地方官衙間の交流、地方官衙間相互の交流さらに対外的交流といった地域間交流に注目して、史料・遺跡・遺物などから列島各地域での交流の様相を明らかにしたい。その際、地方官衙遺跡の諸施設とそれが果たした多様な機能との結びつきを明らかにし、将来の地方官衙遺跡発掘調査に示唆を与えたい。さらに、地方官衙とその地域社会との関係や、十世紀以降への地方官衙の変貌についても、展望したい。

また、古代の中国や朝鮮半島における地方官衙のあり方をも検討し、律令制や地方官衙が受容される際に諸地域でどのような特性があるか、日本列島における地方行政組織の特徴を、複眼的に解明したい。

## 2. 研究の目的

古代地方官衙における地域間交流の研究。

日本古代国家の中央集権的支配のために、国府や郡家といった地方官衙が生まれ、統治の諸面で在地社会において多様な機能を発揮した。その機能は多様であり、中央と地方、地方相互、そして対外関係など多くのレベルでの地域間交流を展開させている。史料や遺跡・遺物など多様な歴史資料に、そうした地域間交流の痕跡が残されており、その調査・研究により、時代的・地域的特性や古代国家の構造的特質を解明したい。

## 3. 研究の方法

まず、日本列島における地方官衙遺跡の展開について、最近の各地の遺跡の調査事例と、木簡などの出土文字資料の集成的検討を行い、列島各地域における地方官衙受容の様相を明らかにしたい。その際、遺跡・遺物にみられる地方統治の構造と特徴を地域社会との関係から把握するとともに、受容の際の地域的な特性を明らかにする。

一方、韓国において百済の扶余・公州、新羅の慶州などの都城遺跡とその周辺から官衙遺跡が検出されており、出土した木簡の分析から、古代朝鮮半島諸国における地方統治の特性を明らかにする。さらに、韓国で展開しつつある木簡・金石文などの出土文字史料研究の現状を、把握したい。中国についても、地方官衙遺跡や、出土した漢代の辺境支配のための木簡(簡牘)や造像銘・石碑・墓誌・瓦せん銘などの金石文を検討したい。こうして、古代地方官衙を通して、大陸・朝鮮半島・日本列島の国家的中央集権性について、比較研究する。それらを総合し、古代東アジアにおける地方官衙の全体像と地域的特性を明らかにする。

## 4. 研究成果

「古代地方官衙における地域間交流の研究」をテーマとした本研究では、古代地方官衙に関連する史資料や発掘調査成果などの情報収集を進めた。とくに古代東国を中

心とした律令国家期の地方官衙の郡家（郡衙）をめぐって、律令国家と地方官衙との関係をはじめとして、七世紀以前にさかのぼるヤマト王権時代の王権と地方豪族との関係、東アジア（渡来人をふくむ）や他地域との交流の実像、陸上・水上交通とのリンク、仏教・神祇信仰の受容、漢字文化の受容などの諸面にわたって、これまでの調査・研究をとりまとめる研究を進めた。また国府についても、出雲・武蔵・美作などの国府・国分寺をめぐる交流史の事例分析を行うとともに、国府（国衙）における地域間交流の実態や、中央からの派遣官国司と在地の郡司たち地方豪族との関係について、考察を進めた。

本研究によって、古代日本列島において、地方官衙を核とした諸地域間の多面的な交流の盛んな展開の実像が見えてきたといえよう。もと国造や屯倉管理者などとして伝統的な地域支配権を継承してきた郡司たち地方豪族は、こうした開かれた交流を進める中で律令国家の地方行政体系の中に自らを位置づけたのであり、こうした郡司たちを地方官として取り込むことによって律令国家は中央集権的な国家体制を形作ることができたことを明示し得たと考える。

#### 5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕(計9件)

佐藤信「古代鞠智城と東アジア」『古代山城 鞠智城を考える』熊本県教育委員会、2012。84-96頁。

佐藤信「国分寺の造営と在地社会」須田勉・佐藤信編『国分寺の創建 組織・技術論』吉川弘文館、2013。279-300頁。

佐藤信「鞠智城の歴史的な位置」『鞠智城跡 論考編』熊本県教育委員会、2014。3-16頁。

佐藤信「出土文字資料から見た出雲国府」『史跡出雲国府跡9 総括編』島根県埋蔵

文化財調査センター、2013。292-299頁。  
佐藤信「風土記研究の最前線」『しまねの古代文化』21号、島根県古代文化センター、2014。71-88頁。

佐藤信「郡家の構造と機能」『出雲古代史研究』24号、出雲古代史研究会、2014。1-17頁。

佐藤信「古代の陸奥国気仙郡と郡司金氏」『陸前高田市文化財等保存活用計画策定調査業務報告書資料編』陸前高田市教育委員会、2014。31-37頁。

佐藤信「日本古代木簡の生態的研究をめぐって」初山明・佐藤信編『文献と遺物の境界 中国出土簡牘史料の生態的研究』東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、2014。309-321頁。

佐藤信「『出雲国風土記』の特徴と古代出雲世界」『しまねの古代文化』22号、島根県古代文化センター、2015。1-15頁。

〔学会発表〕(計20件)

佐藤信「古代地方官衙と地方豪族」第28回歴史学入門講座(同実行委員会)〔招待講演〕2012.7.7。大阪歴史博物館(大阪府大阪市)  
佐藤信「律令国家と出雲」平成24年度松江市史講座(松江市教育委員会)(招待講演)2012.7.14。松江市総合文化センター(島根県松江市)。

佐藤信「古代史からみたヤマト王権と出雲」「大出雲展」関連シンポジウム「ヤマト王権と出雲 検証・神々の国」(招待講演)2012.7.29。京都国際会議場(京都府京都市)  
佐藤信「越後の木簡が語る古代史」「木簡が語る古代の越後 越後木簡の20年」第40回古代史サマーセミナー(招待講演)2012.8.24。新潟市万代市民会館(新潟県新潟市)

佐藤信「徳丹城と文屋綿麻呂」徳丹城造営1200年記念シンポジウム「徳丹城とは何か」岩手県矢巾町教育委員会(招待講演)2012.9.30。岩手県矢巾町公民館(岩手県矢

巾町)

佐藤信「古代の地方豪族と官衙」皇學館大学  
史学会講演(招待講演)2012.10.25。皇學  
館大学(三重県伊勢市)

佐藤信「前九年合戦と安倍氏の実像」第十回  
安倍氏の柵シンポジウム「前九年合戦の中  
の安倍氏の柵」岩手県金ヶ崎町教育委員会  
(招待講演)2013.2.16。金ヶ崎町中央生涯  
教育センター(岩手県金ヶ崎町)

佐藤信「出土文字資料からみた出雲国府」  
平成25年度第2回埋蔵文化財専門研修講  
演2013.8.2。島根県埋蔵文化財調査センタ  
ー(島根県松江市)

佐藤信「郡家の構造と機能」第24回出雲古  
代史研究会大会報告2013.8.3。島根県埋蔵  
文化財調査センター(島根県松江市)

佐藤信「出雲国府の実像」平成25年度松江  
市史講座(松江市教育委員会)(招待講演)  
2013.10.19。松江市総合文化センター(島  
根県松江市)

佐藤信「風土記研究の最前線」風土記フェス  
タ公開シンポジウム「風土記研究の最前線」  
基調講演2013.10.27。松江テルサホール  
(島根県松江市)

佐藤信「美作国建国と律令国家」第3回おか  
やま文化フォーラム「美作国建国と律令国  
家」基調講演2013.11.9。津山市津山文化セ  
ンター(岡山県津山市)

佐藤信「東大寺横江荘遺跡を考える」史跡東  
大寺横江荘遺跡荘家跡指定40周年記念フ  
ォーラム「横江びとが語る平安ロマン」(招  
待講演)2012.6.24。白山市千代女の里俳句  
館(石川県白山市)

佐藤信「古代東国の地方官衙」甘粕健先生追  
悼記念講演会「古墳文化・古代官衙」文化  
財保存全国協議会(招待講演)  
2014.7.12。明治大学リパティータワー(東  
京都千代田区)

佐藤信「『出雲国風土記』の特徴と古代出雲  
世界」出雲国風土記シンポジウム「古代出

雲の実像」島根県・島根県教育委員会。(招  
待講演)2014.7.21。日経ホール(東京都千  
代田区)

佐藤信「古代の陸奥国気仙郡と郡司金氏」  
陸前高田市文化財等保存活用計画策定調査  
委員会調査・保存部会報告会、陸前高田市  
教育委員会(招待講演)。2014.8.31。陸前  
高田市役所(岩手県陸前高田市)

佐藤信「宗像・沖ノ島と関連遺産群の歴史  
的価値」福岡教育大学特別公開講座「講座  
むなかた!ムナカタ!宗像!」福岡教育  
大学(招待講演)。2014.12.13。福岡教育  
大学(福岡県福津市)

佐藤信「上野国佐位郡正倉跡と古代豪族」  
「上野国佐位郡正倉跡」国指定史跡記念事  
業。伊勢崎市(招待講演)2015.1.31。伊勢  
崎市役所。(群馬県伊勢崎市)

佐藤信「平安時代の東国仏教と国分寺」歴  
史文化フォーラム「平安時代における祈り  
の空間 武蔵国分寺」国分寺市(招待講演)  
2015.2.15。国分寺市立いずみホール(東京  
都国分寺市)

佐藤信 古代の相模国と地方官衙 平成  
26年度神奈川県考古学会講座「相模国を  
創るー古代の役所と寺院ー」(招待講演)  
2015.2.22。茅ヶ崎市役所コミュニティーホ  
ール(神奈川県茅ヶ崎市)

〔図書〕(計3件)

須田勉・佐藤信編『国分寺の創建 組織・  
技術論』吉川弘文館、2013。464頁。

初山明・佐藤信編『文献と遺物の境界  
中国出土簡牘史料の生態的研究』東京外  
国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所  
2014。339頁。

松江市史編集委員会(編集委員・佐藤信)  
『松江市史 通史編1 自然環境・原始・古  
代』松江市、2015年。891頁。

〔産業財産権〕  
出願状況(計0件)  
名称:

発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況（計0件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

佐藤信（東京大学大学院人文社会系研究科  
教授）

研究者番号：80132744

### (2) 研究分担者

なし（ ）

研究者番号：

### (3) 連携研究者

なし（ ）

研究者番号：